

## 第1章

# 便利で快適なまちづくり

### 第1節 道路交通体系の整備

- (1) 広域交通ネットワークの整備
- (2) 都市計画道路の整備
- (3) 市内地域間交通ネットワークの整備
- (4) 生活道路網の整備

### 第2節 公共交通の充実

- (1) 新幹線新玉名駅(仮称)周辺の整備
- (2) バス路線網の整備

### 第3節 魅力ある住環境の整備

- (1) 快適な住環境整備と定住化の促進
- (2) 既設公営住宅の改善と世代間交流の推進
- (3) 公営住宅の建設

### 第4節 公園・緑地等の整備

- (1) 公園・緑地の適正配置
- (2) 「花の都 玉名」づくり

### 第5節 まちなみの景観形成

- (1) 都市景観形成
- (2) 自然景観形成

### 第6節 情報・通信基盤の整備

- (1) 情報・通信ネットワークの整備
- (2) 情報サービスの充実



玉水小学校 2年 松村 有紗さん

# 第1章 便利で快適なまちづくり

## 第1節 道路交通体系の整備

### 現状と課題

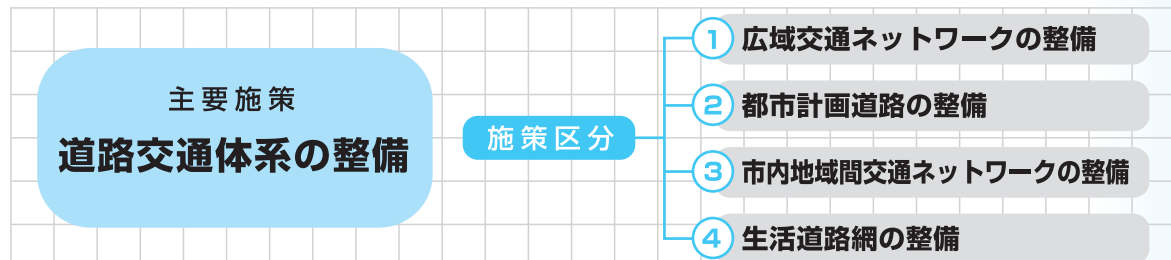
平成23年に九州新幹線が全線開業すると、県北の交通拠点としての機能がさらに充実し、広域交通体系やネットワークの整備を推進することにより、地域産業や市域内外との交流促進など、新たな活性化や広がりが期待されます。

平成元年に工事着手した玉名バイパスは、その一部が供用開始されており、新幹線の開業に合わせた全線開通を多くの市民が待ち望んでいます。

県北の玄関口として各方面に通じる国道、県道など骨格道路の整備や慢性的な渋滞の緩和について、国や県への要望活動を強化する必要があります。

また、中心市街地と市域内の周辺地域を結ぶ幹線道路の整備については、市域の一体性を確保するための重要路線として、計画的な整備が必要です。

一方、地球環境保全の観点から、環境に負荷の少ない原料や機材を取り入れるなどの施工上のシステムづくりが必要です。



大野小学校 4年 大野 直希くん



## 主要事業と概要

### (1) 広域交通ネットワークの整備

玉名バイパスの整備は、新幹線全線開業に合わせた整備を目指します。

特に、立願寺から開田までの区間は、埋蔵文化財の包蔵地域が数多いことから、文化財発掘の可能性もあるため時間的制約を十分考慮し、推進を図ります。

新幹線新玉名駅（仮称）開業にともない、新幹線利用者の利便性の高いアクセス道路の整備とともに、JR玉名駅との相互の乗り継ぎへの対策など、路線バスの再編を含めた検討を行います。

また、本市の広域幹線道路である国道や県道は、今後、広域農道整備を含めて事業の推進に向けた積極的な要望活動を展開します。

特に、新幹線新玉名駅（仮称）から県道玉名八女線にアクセスする県道については、「新玉名（仮称）駅周辺地域等整備基本計画」に基づき、県との連携を強化し、整備を推進します。

「有明海沿岸道路（Ⅱ期）計画」の熊本～大牟田市間については、継続して早期着工を要望します。

### 交通体系図



基本計画

便利で快適なまちづくり

人と自然にやさしい環境のまちづくり

人を大きくむまちづくり

活力とにぎわいのある産業のまちづくり

いきいきと暮らせる福祉のまちづくり

みんなで進める協働のまちづくり

## (2) 都市計画道路の整備

新市の「都市計画マスタープラン」の策定に取り組むとともに、時代にふさわしい都市計画道路網の再構築を図り、今後もバランスの取れた計画的な整備に努めます。

整備中の立願寺南岩原線、立願寺横町線については整備を推進します。

新幹線全線開業や玉名バイパスに対応したアクセス道路として、境川山田線などの部分開通に向け、取り組みを推進します。

また、前田御跡線の整備に取り組み、市南西部方面からの交通の分散を図ります。

## (3) 市内地域間交通ネットワークの整備

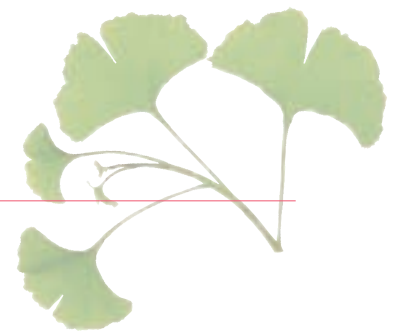
新市としての市域の一体的な発展のために、市域内交通のネットワークを整備し、市域内のどこからでも15分以内で中心市街地まで到達できる「15分構想」を推進し、市域内交通の利便性と定時性の確保に努めます。

特に、JR鹿児島本線より南部方面では中心市街地への交通アクセス機能を強固にするため、南回りバイパス（仮称）などの整備に関係機関の理解を得ながら取り組みを推進します。

また、こうした外環状線の整備とともに、小島橋から市街地までの再構築や、危険性が高いJR踏切の拡幅改良についてもJRと協議の上、道路改良と一体的に取り組めます。



鍋小学校 4年 前田 泰臣くん



#### (4) 生活道路網の整備

通学路など市民生活に最も密着し市域内の交通ネットワークを担う生活道路網については、舗装、新設・改良、側溝改良などの計画的な整備を図り、市民の利便性の向上と安全の確保に努めます。

##### ◆市道の整備状況

	延長(m)	歩道延長(m)	改良率	舗装率	改良済(m)	舗装済(m)
1級	95,569.0	11,065.3	81.0%	99.4%	77,421.9	94,995.8
2級	65,577.1	4,619.1	61.9%	95.9%	40,570.2	62,882.9
その他	640,770.1	16,709.9	41.8%	85.4%	267,546.0	547,218.9
合計	801,916.2	32,394.3	48.1%	87.9%	385,538.0	705,097.5

[資料:市道台帳]

##### ◆都市計画決定街路

	計画延長(km)	整備状況(km)	整備率
玉名都市計画(旧玉名市)	32.8	20.9	63.7%
長洲都市計画(旧岱明町)	18.5	7.0	37.9%
計	51.3	27.9	54.4%

[資料:都市計画現況調査]



生活道路の整備

## 第2節 公共交通の充実

### 現状と課題

本市にはJR鹿児島本線の大野下駅、玉名駅、肥後伊倉駅の3駅に加え、平成23年には高速交通の根幹を成す九州新幹線の新玉名駅（仮称）が開業予定です。

また九州縦貫自動車道の南関菊水インターチェンジや長洲港などの交通結節点に隣接しています。

このように恵まれた地理的特性を活かし、県北の都、県北の拠点都市として県内外との交流や物流の活発化が期待されます。

特に、九州新幹線が全線開業すると福岡圏域まで30分圏内となり、生活圏や経済圏域が拡大されます。

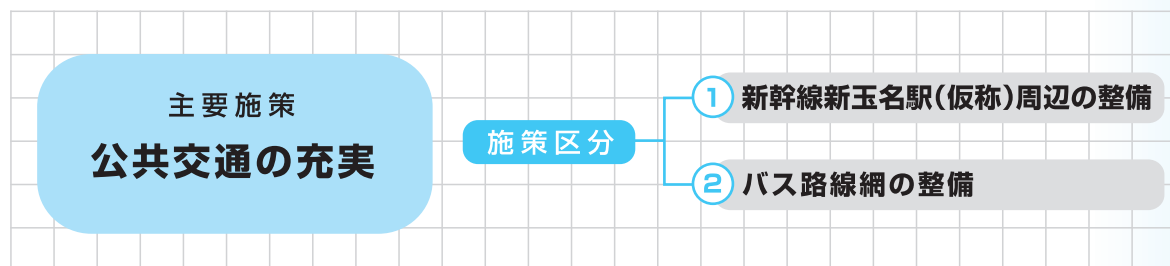
本市としては、開業までに必要な新駅周辺の整備を行い、全線開業を好機として経済や観光面での活性化を図ることが重要なテーマです。

一方、自家用車の普及と道路交通体系の充実とともに、公共交通機関として大きな役割を果たしてきた路線バスは、利用者の減少が顕著になっています。

これは、通勤や通院、ショッピング、家族の余暇活動におけるバス利用者の減少によるものであり、現状では、高齢者や子どもなどの交通弱者の利用に限られてきています。

これらを踏まえ、誰でも利用できる利便性の高い路線バスの再編、改革に取り組む必要があります。

また、大牟田・荒尾沖への九州国際（ハブ）空港の誘致構想については、国に対して継続して要望します。



新玉名駅(仮称)駅前広場イメージ図



## 主要施策と概要

### (1) 新幹線新玉名駅（仮称）周辺の整備

九州新幹線新玉名駅（仮称）の駅舎については、県北の玄関口としてふさわしい機能を持ち、“やすらぎ・ぬくもり・あたたかみのある自然素材を活かした開放感あふれる田園の駅”をイメージして取り組んでいただくよう、今後も鉄道運輸機構と調整を図ります。

駅周辺整備は、新幹線工事の完成までに駅前広場や駐車場など約4haの整備を行い、駅舎のイメージに沿って環境に配慮した緑あふれる空間整備を推進します。

整備にあたっては、埋蔵文化財の発掘調査の可能性もあるため、時間的制約を十分考慮し、新幹線開業に合わせた計画的な整備を図ります。

### (2) バス路線網の整備

路線バスの利用の減少をうけて、天水、芳野方面のバス路線については、タクシーを利

用したデマンド（乗り合い）タクシー<sup>(※)</sup>を運行しています。

今後は、バス利用者の利用状況や傾向を調査し、コミュニティバスや福祉バスなどの運行も視野に入れ、目的地までの高速性と乗り継ぎの連続性を満たした利便性の高いバス路線網の改革に取り組みます。

新幹線新玉名駅（仮称）をつなぐバス路線については、地方バス対策玉名地域ブロック協議会において広域的に路線の編成を進めるとともに、JR玉名駅と新幹線新玉名駅（仮称）のアクセスについては、市内循環バスを中心に再編し利便性の確保を図ります。

さらに、新幹線開業にともない、阿蘇方面につながる広域観光を含めたバス路線の整備を検討します。

また、路線網の整備にあたっては、危険箇所や道路幅員などの調査を行い、走行性と安全性の確保を図ります。



玉名町小学校 5年 石田 ももこさん

#### 用語説明

デマンド（乗り合い）タクシー

利用者が電話などを利用して呼び出し、バスのように決められた路線を走行するタクシー。乗り合いを原則とする

基本計画

便利で快適なまちづくり

人と自然にやさしい環境のまちづくり

人をはぐくむまちづくり

活力とにぎわいのある産業のまちづくり

いきいきと暮らせる福祉のまちづくり

みんなで進める協働のまちづくり

## 第3節 魅力ある住環境の整備

### 現状と課題

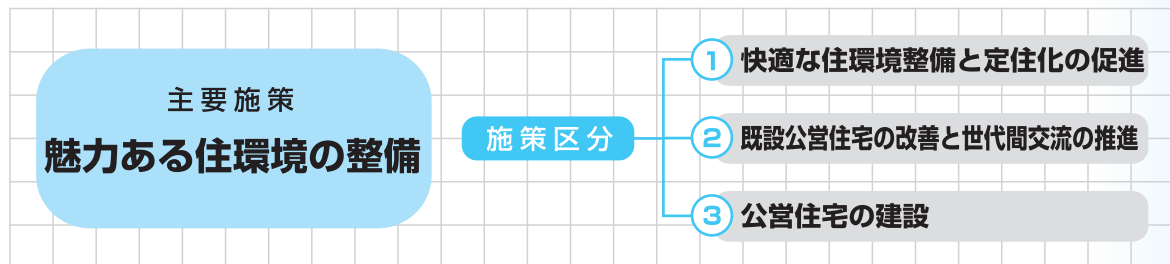
本格的な少子・高齢社会が進行する中で、本市でも今後高齢単身者・高齢夫婦世帯の大幅な増加が見込まれています。

このような中、市民の誰もが生涯にわたって安心して生活できる住環境づくりを行っていくことが大切です。

本市では、新幹線全線開業をきっかけとして、定住化に取り組みます。

公営住宅の需要は依然高く、ユニバーサルデザインや省エネルギーに配慮した質の高い住宅の提供が必要であり、また、高齢社会に対応するため、高齢者から子どもまで多様な世代が居住し交流の輪が広がる住環境づくりが必要です。

新市における計画的な公営住宅の改修、改善を図るため、「住生活基本計画<sup>(※)</sup>」の策定に取り組みます。



#### ◆公営住宅

団地名	建設年度	棟数	戸数	構造	階数	団地名	建設年度	棟数	戸数	構造	階数
天満町団地	昭和58	4	10	RC	2	杉田東団地	昭和55	3	6	CB	1
陣内団地	昭和60	1	16	RC	4	杉田西団地	昭和56	3	6	CB	1
東原西団地	昭和61	3	6	CB	1	大倉団地	昭和36～57	59	228	CB	1～2
南大門団地	平成7～8	5	30	RC	3	岩井口西団地	昭和60～平成1	8	18	CB	1
山田団地	昭和63～平成4	12	92	RC	4	栗崎団地	昭和55	2	32	RC	4
糠峯団地	昭和48～52	17	268	RC	2～4	三ツ川団地	平成13～14	5	30	RC	3
深田団地	昭和53	9	39	CB	2	明神尾団地	昭和51～52	10	40	CB	2
住吉団地	平成5	1	16	RC	3～4	古閑団地	平成12～13	9	40	W・RC	1～2
柵木団地	昭和57～61	7	14	CB	1	桜谷団地	昭和55～57	3	12	CB	2
一本松団地	昭和45～57	34	149	CB	1～2	馬の水住宅	昭和56	1	6	W	1
四本木団地	昭和54	2	48	RC	4	新立石団地	昭和54	1	6	RC	3
計								199	1,112		

W=木造、CB=補強コンクリートブロック造、RC=鉄筋コンクリート造

[資料:住宅課]

#### 用語説明

##### 住生活基本計画（住宅マスタープラン）

住宅政策の総合的・長期的な基本方針としてとりまとめたもの。生活の拠点となる住宅を視점에、住まいやまちに関する基本目標や取り組む施策の方向性などを示す





## 主要施策と概要

### (1) 快適な住環境整備と定住化の促進

快適な住環境づくりのため、今後も生活基盤の整備や環境保全を着実に進めます。

本市では、自分たちの力で環境を守るという意識のもとで、環境にやさしいという思いあるまちづくりが進められており、今後も訪れる人々の心を和ませ、「また訪れたい」と思えるようなまちづくりを継続します。

本市では、こうしたまちづくりの理念の下、九州新幹線の全線開業や団塊の世代、また雇用の場の創出やI・J・Uターンなどの検討を行い、実施においては、優良な民間企業の住宅開発誘導を進め、その能力を最大限に活用しながら定住化を促進し、「ずっと住みたい玉名」づくりを目指します。

### (2) 既設公営住宅の改善と世代間交流の推進

老朽化が著しい既設公営住宅の改善におい

ては、「公営住宅ストック総合活用計画<sup>(※)</sup>」に沿って計画的に実施します。

また、長寿社会に対応するため、高齢者から子どもまで多様な世代が居住し交流できる住環境づくりを整えます。これは、団地内に世代間の交流のきっかけづくりの場を提供するもので、多様な世代の交流の場となり、また、地域文化や歴史の伝承の場となり、高齢者の生きがいづくりや子育て支援に役立つものと期待されます。

### (3) 公営住宅の建設

公営住宅の建設については、「公営住宅ストック総合活用計画」に沿って計画的に実施します。

特に、老朽化した団地の改築については、市民のニーズを十分把握しながらユニバーサルデザインや省エネルギーに配慮した質の高い住宅の提供に努めます。

古閑団地



南大門団地



梅林小学校 3年 西坂 春香さん

#### 用語説明

##### 公営住宅ストック総合活用計画

公営住宅に関して、建替、改善、及び維持保全などの適切な整備の手法を設定することで、より有効に活用するための長期的な計画

基本計画

便利で快適なまちづくり

人と自然にやさしい環境のまちづくり

人をはぐくむまちづくり

活力とにぎわいのある産業のまちづくり

いきいきと暮らせる福祉のまちづくり

みんなで進める協働のまちづくり

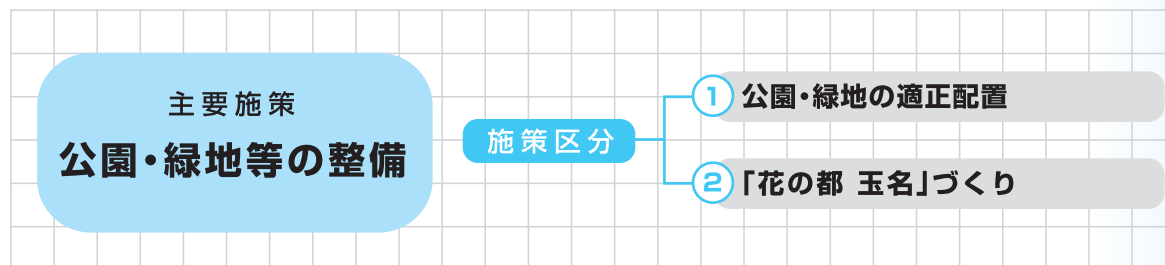
第4節 公園・緑地等の整備

現状と課題

本市の公園・緑地は都市公園が45箇所で面積62ha、その他の公園は16箇所で面積が10haとなっており、市民1人当たり10㎡の整備率となっています。

地区公園、近隣公園、街区公園などの整備については、市全体にバランスのとれた計画的な整備を推進するとともに、災害時の避難場所などの多様な利活用の観点から、公園・緑地の適正な配置が求められています。

また、各種団体または校区ごとの花壇づくりの推進や花の拠点づくり事業の取り組みにより、緑豊かな都市を目指し花苗・種子などの提供を行っています。



◆公園緑地等の状況

	箇所数	面積(ha)
街区公園	31	5.98
近隣公園	1	1.13
地区公園	1	6.51
総合公園	1	21.20
運動公園	1	18.90
都市緑地	8	7.35
広場公園	2	0.98
計	45	62.05

[資料:都市公園等整備現況調査]



八嘉小学校 3年 坂井 ひかりさん



## 主要施策と概要

### (1) 公園・緑地の適正配置

市民1人当たり公園面積20㎡を目標に、公園整備を推進するとともに、地域での管理について支援します。

総合公園、運動公園は、地域住民の憩いの場、レクリエーション、コミュニティ活動や災害時の避難場所などの観点から計画的な整備を図ります。

老朽化した公園は計画的に整備を行い、水辺公園や古墳群などの歴史公園を配置することで、歴史を学ぶ機会を提供するとともに、観光施設としての利活用にも取り組みます。



高瀬裏川の花しょうぶ

### (2) 「花の都 玉名」づくり

花づくりを定着させ、「花の都 玉名」づくりをコンセプトに、市内小・中学校や玉名21の星事業、またボランティア団体・各種団体による「花の都 玉名」づくりを推進し、これを継承していく人材の育成を支援します。



小天小学校 3年 高木 日香里さん

基本計画

便利で快適なまちづくり

人と自然にやさしい環境のまちづくり

人をはぐくむまちづくり

活力とにぎわいのある産業のまちづくり

いきいきと暮らせる福祉のまちづくり

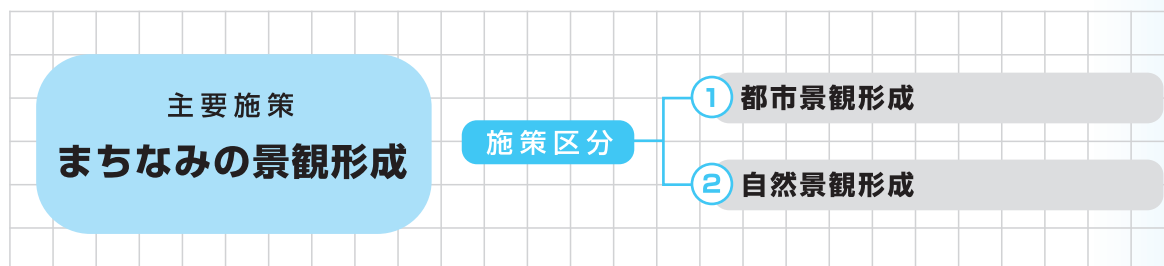
みんなで進める協働のまちづくり

## 第5節 まちなみの景観形成

### 現状と課題

中心市街地においては、商業施設の看板や色彩など統一感のとれた景観に配慮した美しいまちなみ形成が求められています。

また、郊外に広がる農・山村の景観は、地域住民に安らぎと癒いをもたらすものであり、郷土の原風景としての景観の保全が必要です。



小田小学校 2年 柴田 落子さん



## 主要施策と概要

### (1) 都市景観形成

自然や歴史など地域の風情を感じることができ、観光客や地域住民のやすらぎとうるおいが持てる景観形成の推進に努めます。

中心市街地においては、建物の形態や色彩など、また商業施設の看板や色彩などについて、調和が保たれた統一感のあるまちなみ景観形成を推進します。

このため、行政やまちづくり団体、ボランティア団体が連携し、地域の景観は地域で守るという市民意識の高揚に努めるとともに、景観形成基準の設定なども視野に入れ、景観のよいまちづくりを推進します。

### (2) 自然景観形成

菊池川をはじめとする河川や山並みの景観形成は、自然の風景を十分配慮した修景整備を行い、都市のうるおい空間として自然景観が阻害されないよう保全を図ります。

このため、行政とまちづくり団体が連携し、豊かな景観形成の推進に努めます。

こうした取り組みを推進することで、「美しい景観都市 玉名」の実現を目指します。



大浜小学校 5年 大西 良奈さん

## 第6節 情報・通信基盤の整備

### 現状と課題

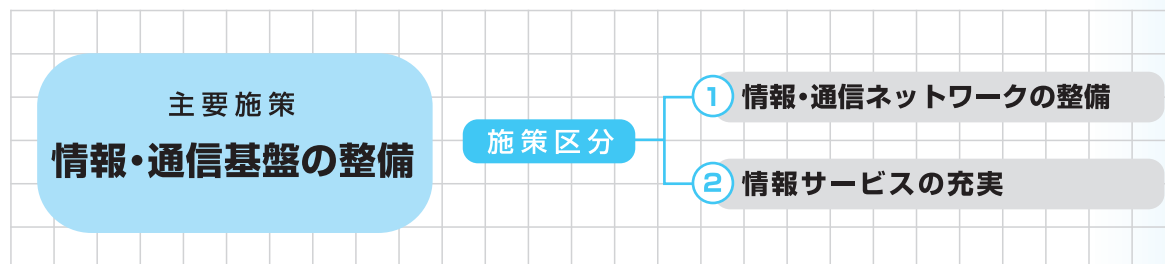
本市の情報・通信基盤は、自設の光ファイバーによって主な公共施設を接続しており、住民基本台帳を基にして、行政サービスの提供や情報の共有化、また学校ネットワークシステムなどで利用されています。

また、県と各市町村が連携し、電子申請受付サイトの共同運用を行っています。

今後は、各種行政手続きの電子申請が拡大するとともに、電子自治体に対応する各種行政システムの導入が求められます。

また、市公式ホームページ<sup>(※)</sup>による行政情報の提供や「玉名市地域情報プラザ」で地域情報や個人商店のPRが出来るポータルサイト<sup>(※)</sup>「I n f oたまな」の運用を行っています。

インターネット利用者が急増する中、さらに利用しやすいホームページに改修していく必要があるとともに、情報プラザや「I n f oたまな」の運用体制の見直しが課題となっています。



玉名市ホームページ

### 用語説明

#### ホームページ

団体や個人が、インターネット上で独自に開設し、公開する情報のページ。ホームページを介して、各種の予約や検索なども可能である

#### ポータルサイト

利用者がインターネットで最初に訪れるサイトをいう。「入り口」の意味



## 主要施策と概要

### (1) 情報・通信ネットワークの整備

公共施設間では原則として光ファイバーの接続により十分な通信容量を確保しており、重要な回線は災害や事故に備え、予備回線を設けて業務に影響がないようにします。

また、行政ネットワーク、学校ネットワーク、住民ネットワークはインターネットと接続していますが、ファイアーウォール<sup>(※)</sup>などを設けて情報漏えいなどが起きないようにセキュリティ対策を行います。

### (2) 情報サービスの充実

電子申請の行政手続やLGWAN<sup>(※)</sup>の利用の増加が見込まれることから、電子決済を含めた文書管理システムやGIS（地理情報システム）の導入について検討します。

ホームページは、動画配信などにも対応し、誰もが情報を取得できるように、利用者の視点から使いやすいものにしていきます。

また、玉名市地域情報プラザや「Infoたまな」は、地域経済の振興、観光情報の提供、地域情報化の推進などを目的に関係団体と連携しながら運用を行います。

基幹業務においては、行政事務の新システムが平成17年10月の合併と同時に導入されましたが、平成21年度をめどに再評価を行い、平成23年度に予定するシステムの更新に備えます。

これらのアプリケーションソフトなどの充実（各種行政システムの導入）を図ることにより、情報サービスの充実を図ります。



情報通信の整備

#### 用語説明

ファイアーウォール

外部からの不正なアクセスや侵入を防止することを目的としたシステム

総合行政ネットワーク（LGWAN）

すべての地方公共団体を相互に接続する、行政専用のネットワークのこと